

## 全国高等学校PTA連合会大会（島根大会）の配信映像を活用した研修について

北海道留萌高等学校PTA

従来であれば、全国大会には一部の役員のみ参加となり、会員への報告や還元が十分にできない状況でしたが、全国大会の開催方法が変更され、各単Pで全国大会を視聴することとなったため、留萌支部研究大会として、全会員を対象に実施する機会を持つことができました。

本校PTAでは、個別の視聴を会員に案内するとともに、合同視聴会を11月5日（金）に開催し、第2分科会の動画配信『「正しく怖がる」で創るネットとのお縁（SNS・スマホで絶対失敗しない方法とは）』を題材に、ネット利用に必要な知識や対処法について研修を行いました。

### <実施後の会員の感想>

- ・現代社会において、インターネットはビジネスや生活に不可欠である一方、使い方を間違えると情報漏洩やネット炎上に繋がるリスクも秘めている。
- ・ネット炎上で個人が特定されたり、「友達限定公開」が無意味となる理由がわかった。
- ・ネットリテラシーやネットモラルというのは、難しいものと考えていたが、本質が何かを押さえることで「正しく怖がる」ことができると感じた。
- ・いまやネットなしでは生活していけない状態であることから、むやみに否定せず、正しい怖がり方を知ることが大切だという講師の考え方に共感した。
- ・ネットの悪影響を心配して家庭でのルールをつくる時に失敗するのは、本質からずれた対応をしているためであることが身に沁みてわかった。
- ・ネットに書き込む際の判断基準として、自宅玄関の外に紙に書いて貼れるかどうかなど、わかりやすい譬えであった。
- ・限定公開であっても、スクリーンショット等で拡散しているという事例を聞き、仲間内であっても書き込むべきではない内容があることがわかった。
- ・ネット上での誹謗中傷や友人間のトラブルが、意見交流する中で頻出しており、学校でも指導に苦慮している状況がわかった。学校と協力して家庭でも教育することが重要だと感じた。

.....

動画視聴後、参加者で意見交流を行いました。久々に意見交流をする場となり、高校教育を取り巻く様々な環境の課題を知り、考える貴重な機会となりました。

